



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社Amazia 上場取引所 東
 コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）佐久間 亮輔
 問合せ先責任者（役職名）取締役CFO（氏名）神津 光良 TEL 03-6415-3435
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家及びアナリスト向け

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	1,542	9.3	△100	—	△97	—	△89	—
2025年9月期中間期	1,411	—	△227	—	△224	—	△229	—

（注）包括利益 2026年9月期中間期 △89百万円（—%） 2025年9月期中間期 △230百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	△13.60	—
2025年9月期中間期	△34.88	—

（注）1. 2024年9月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年9月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	1,833	817	817	817	41.1
2025年9月期	1,461	907	907	907	57.7

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 754百万円 2025年9月期 843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,321	16.8	△123	—	△121	—	△124	—	△18.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名)株式会社リーデックス、除外 1社(社名)―
(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」をご覧ください。
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期中間期	6,757,800株	2025年9月期	6,757,800株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	180,504株	2025年9月期	180,504株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年9月期中間期	6,577,296株	2025年9月期中間期	6,577,296株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2026年5月15日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、TDnetで本決算短信と同時に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社が属する電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2025」によると、2024年度の電子書籍市場規模は6,703億円と推計され、2023年度の6,449億円から254億円(3.9%)増加し、2029年度には8,000億円弱に成長すると予測されており、電子書籍ユーザーは、引き続き増加傾向にあります。

一方で、電子書籍市場の競争環境は厳しく、アクティブユーザー数が減少傾向にあることに加え、1人当たりの課金売上も低調に推移しているため、課金収益は減少しています。

このような市場環境の中で、当社グループはエンターテインメント事業において、主力サービスである「マンガBANG!」の収益性の改善及びオリジナル作品の制作を強化するとともに、ITソリューション事業及び越境EC事業の拡大に向けた先行投資に注力しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,542,379千円(前年同中間期比9.3%増)、営業損失は100,972千円(前年同中間期は営業損失227,449千円)、経常損失は97,451千円(前年同中間期は経常損失224,791千円)、親会社株主に帰属する中間純損失は89,426千円(前年同中間期は親会社株主に帰属する中間純損失229,409千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エンターテインメント事業)

「マンガBANG!」において、広告枠の増加及び周年イベントや様々なキャンペーン施策を行ったことで、広告ARPUは改善しましたが、費用対効果を考慮して広告宣伝費を抑制した影響でMAUが減少し、結果として課金収益が減少しました。

一方で、将来の利益の源泉となるオリジナル作品(WEBTOON含む)の制作に引き続き注力した結果、既存巻の売上も増加するなど、マンガBANGコミックスの売上は好調に推移しました。

また、2025年2月に開始した越境ECサイト「Fandom Tokyo」は、当中間連結会計期間の売上高が220百万円を超えるなど、好調に推移しました。

この結果、売上高は1,492,961千円(前年同中間期比6.8%増)、セグメント利益は71,958千円(前年同中間期はセグメント損失39,456千円)となりました。

(ITソリューション事業)

SES(システムエンジニアリングサービス)事業では、積極的なIT人材の採用により、稼働エンジニア社員数の月平均が前年同中間期比で10名程増加となりました。採用費や人件費等も増加しましたが、売上高は着実に拡大しております。

また、インターネット広告を商材としたSEOメディアでは、エンタメ系情報サービス「マンガBANGマガジン」をリリースし、収益性の改善に努めて参りました。

この結果、売上高は49,417千円(前年同中間期比269.3%増)、セグメント損失は14,109千円(前年同中間期はセグメント損失24,932千円)となりました。

(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況

① 財政状態の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は1,833,922千円となり、前連結会計年度末に比べ372,367千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が228,801千円、のれんが74,796千円、現金及び預金が70,880千円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は1,016,246千円となり、前連結会計年度末に比べ461,793千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が350,000千円、未払金が95,059千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は817,676千円となり、前連結会計年度末に比べ89,426千円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する中間純損失の計上により利益剰余金が89,426千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ70,880千円増加し、531,469千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、62,009千円(前中間連結会計期間は191,261千円の支出)となりました。その主な要因は、売上債権の減少80,722千円により資金が増加した一方で、税金等調整前中間純損失の計上88,951千円、仕入債務の減少17,770千円、未払金の減少10,967千円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、217,110千円(前中間連結会計期間は12,626千円の支出)となりました。その主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出215,005千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、350,000千円(前中間連結会計期間は発生なし)となりました。その要因は、短期借入金の純増額350,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月13日に公表いたしました2026年9月期(2025年10月1日~2026年9月30日)の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2026年5月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	460,589	531,469
売掛金	501,597	470,330
商品	15,731	37,484
コンテンツ	28,973	35,238
未収還付法人税等	-	1,397
その他	129,485	114,165
流動資産合計	1,136,376	1,190,086
固定資産		
無形固定資産		
のれん	-	74,796
無形固定資産合計	-	74,796
投資その他の資産		
敷金及び保証金	222,054	229,412
投資有価証券	103,125	331,926
その他	10,000	17,701
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	325,179	569,039
固定資産合計	325,179	643,836
資産合計	1,461,555	1,833,922
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,490	164,744
短期借入金	-	350,000
未払金	156,573	251,633
未払法人税等	4,623	3,943
引当金	2,250	2,175
前受金	171,481	162,573
その他	31,034	78,676
流動負債合計	543,452	1,013,746
固定負債		
関係会社事業損失引当金	11,000	2,500
固定負債合計	11,000	2,500
負債合計	554,452	1,016,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	366,724	366,724
資本剰余金	363,010	363,010
利益剰余金	246,136	156,709
自己株式	△132,346	△132,346
株主資本合計	843,524	754,097
新株予約権	63,579	63,579
純資産合計	907,103	817,676
負債純資産合計	1,461,555	1,833,922

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,411,569	1,542,379
売上原価	1,152,993	1,153,671
売上総利益	258,576	388,707
販売費及び一般管理費	486,025	489,680
営業損失(△)	△227,449	△100,972
営業外収益		
受取利息	473	648
為替差益	85	2,017
受取手数料	987	587
その他	1,110	323
営業外収益合計	2,657	3,576
営業外費用		
支払利息	-	55
営業外費用合計	-	55
経常損失(△)	△224,791	△97,451
特別利益		
関係会社事業損失引当金戻入額	-	8,500
特別利益合計	-	8,500
特別損失		
関係会社事業損失引当金繰入額	5,000	-
特別損失合計	5,000	-
税金等調整前中間純損失(△)	△229,791	△88,951
法人税等	462	475
中間純損失(△)	△230,254	△89,426
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△844	-
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△229,409	△89,426

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純損失(△)	△230,254	△89,426
中間包括利益	△230,254	△89,426
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△229,409	△89,426
非支配株主に係る中間包括利益	△844	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△229,791	△88,951
賞与引当金の増減額(△は減少)	450	△75
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	5,000	△8,500
受取利息	△473	△648
支払利息	-	55
株式報酬費用	589	-
助成金収入	△500	△150
売上債権の増減額(△は増加)	119,861	80,722
前受金の増減額(△は減少)	△9,354	△8,907
仕入債務の増減額(△は減少)	△50,033	△17,770
未払金の増減額(△は減少)	△75,226	△10,967
その他	44,263	△6,807
小計	△195,215	△61,998
利息の受取額	473	648
利息の支払額	-	△166
助成金の受取額	500	150
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	2,980	△641
営業活動によるキャッシュ・フロー	△191,261	△62,009
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△215,005
関係会社短期貸付金による支出	△10,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	△3,088	△1,689
その他	462	△415
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,626	△217,110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	350,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	350,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△203,887	70,880
現金及び現金同等物の期首残高	928,509	460,589
現金及び現金同等物の中間期末残高	724,621	531,469

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテインメント事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
ユーザー向け売上高	957,135	—	957,135	—	957,135
法人向け売上高	441,053	13,380	454,434	—	454,434
顧客との契約から生じる収益	1,398,189	13,380	1,411,569	—	1,411,569
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,398,189	13,380	1,411,569	—	1,411,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,398,189	13,380	1,411,569	—	1,411,569
セグメント損失(△)	△39,456	△24,932	△64,389	△163,059	△227,449

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△163,059千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテインメント事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
ユーザー向け売上高	998,913	—	998,913	—	998,913
法人向け売上高	494,048	49,417	543,466	—	543,466
顧客との契約から生じる収益	1,492,961	49,417	1,542,379	—	1,542,379
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,492,961	49,417	1,542,379	—	1,542,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,492,961	49,417	1,542,379	—	1,542,379
セグメント利益又は損失(△)	71,958	△14,109	57,849	△158,821	△100,972

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△158,821千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ITソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社リーデックスの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において74,796千円であります。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、株式会社リーデックスの全株式を取得し、連結子会社化することについて決議し、当該決議に基づいて2026年3月31日付で株式取得の手続きを完了しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社リーデックス
事業の内容	SES事業、受託開発等

(2) 企業結合を行った理由

株式会社リーデックスは、2004年の創業以来、SES事業と受託開発を展開し、堅実な経営と確かな技術力で、大手企業から長期にわたる厚い信頼を得ており、システムの設計から開発・運用までをワンストップで行うトータルソリューションを提供できる技術力が強みです。

当社グループは、多角化戦略の一環として2024年3月に子会社Amazia Linkを設立し、SES事業に参入いたしました。積極的な採用活動によりエンジニア採用が進んだため、顧客基盤の構築が今後の課題でした。

今回の株式会社リーデックスと当社グループが緊密に連携することで、株式会社リーデックスが有する優良な顧客基盤の活用と互いの技術力を補完し合うことで、対応可能な技術領域を大幅に拡大いたします。それによって、多角的な提案と高度な技術提供を通じて、お客様の期待に応えるとともに、グループ全体の企業価値を最大化してまいります。

(3) 企業結合日

2026年3月31日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 取得する議決権比率

100.0%

2. 中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2026年3月31日が株式取得日であることから、貸借対照表のみを連結しており、当中間連結会計期間にかかる中間連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	539,114 千円
取得原価		539,114 千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 2,000千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

74,796千円

(2) 発生原因

今後の事業展開から期待される将来の超過収益力によるものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びに主な内訳

流動資産	376,702 千円
固定資産	242,171 千円
資産合計	618,873 千円
<hr/>	
流動負債	154,556 千円
負債合計	154,556 千円

7. 支払資金の調達及び支払方法

本株式取得の資金については、銀行借入及び自己資金により充当しております。